

(報道発表資料)

2020年1月20日

東日本電信電話株式会社 宮城事業部

NTT 仙台中央ビル「ソーシャル アート ミュージアム」の開設について

東日本電信電話株式会社宮城事業部（事業部長：中村 浩、以下、「NTT 東日本」）は、株式会社ヘラルボニー（代表取締役：松田 崇弥、以下「ヘラルボニー」※1）が企画・運営する「全日本仮囲いアートミュージアム」※2の趣旨に賛同し、宮城県・福島県に在住する知的障がいのあるアーティストのアート作品を、NTT 仙台中央ビル再開発現場の仮囲いに展開した「ソーシャル アート ミュージアム」を本日より開設します。

ヘラルボニーは、「全日本仮囲いアートミュージアム」を通じ、仮囲いにアート作品を掲出することによる街の活性化や、知的障がいのあるアーティストが描くアート作品を活用することによる社会貢献を両立した、新しい可能性を追求する事業を推進しています。NTT 東日本は、このようなヘラルボニーの優れたアイデアや取り組みの趣旨に賛同し、再開発を進めている NTT 仙台中央ビル（仙台市青葉区中央四丁目 4 番）の仮囲いを活用したソーシャル美術館を開設することとしました。

NTT 東日本とヘラルボニーは、知的障がいのあるアーティストが描いたアート作品の社会実装を進めることにより、アート活動の場の拡大、並びにアーティストの経済的な自立を支援していきます。

また、NTT 東日本は、地域とともに歩む ICT ソリューション企業として、現在再開発中の NTT 仙台中央ビルを中心とした新たな街づくりのコンセプトである「仙台エコシステム」※3を通じ、様々なビジネスの創出と地域課題の解決を実現していきます。

■ 「ソーシャル アート ミュージアム」開催概要

期間：2020年1月20日～2020年7月20日（予定）

場所：NTT 仙台中央ビル（仙台市青葉区中央四丁目 4 番）

※1 「ヘラルボニー」

株式会社ヘラルボニーは、異彩を、放て。をミッションに掲げる福祉実験ユニットです。企業・自治体・団体・個人の課題を洗い出し、仮説を立て、福祉を軸とした社会実験を共創します。（公式サイト <http://www.heralbony.jp>）

※2 「全日本仮囲いアートミュージアム」

建設・住宅を守る「仮囲い」を、新発見ができる期間限定の「ミュージアム」と捉え直す地域活性型のアート・プロジェクト。知的障がいのあるアーティストが描いたアート作品を活用することにより、アート使用料の一部が契約福祉施設へ還元されます。

※3 「仙台エコシステム」

最先端の「次世代放射光施設」や、NTT 東日本が開設予定の「スマートイノベーションラボ」(2020年3月開設予定)、NTT アーバンソリューションズグループが現在再開発中の「NTT 仙台中央ビル」(2023年竣工予定)を、NTT が持つ「ICT 技術」で連携することで様々なビジネスの創出と地域課題の解決を実現していくための取り組み。

(紹介サイト <https://www.ntt-us.com/topics/2019/12/topics-191205-01.html>)

<掲載アート等>

